

# 人権だより

No.302(2023.5)

## キャッチボール

教頭 石山 貢

小学校3年生からスポーツ少年団でソフトボールを始め、大学4年生まで野球を続け、教員になってからいまだにソフトボールを続けている私なので、今までキャッチボールをした相手は数多くいる。大学生時代には西武ライオンズの投手陣の投球を受けたこともある。中学校2年生の時は、彼女にとにかく受けやすいボールを必死に投げていたこともよく覚えている。しかし、一番印象に残っている相手は同級生の「せいじ」君。



大学卒業後、第三養護学校（現在のみなら特別支援学校）訪問教育部に常勤講師として赴任した。学校に隣接する愛媛療養所に重度の障がいを持った方が入院している病棟があり、その学齢児を受け持つことになった。先生方が病棟に出向いて授業をするため訪問教育部というわけだが、最初に病棟に入った時の衝撃は大きかった。「障がい」とは無縁の生活を送ってきた私は、入院されている方々に対して憐みの感情が湧いていた。病棟ではプレイルームという職員室程度の広い和室をお借りし、生徒と先生6人から8人が合同で歌ったり、絵を描いたり、ゲームをしたりと楽しい雰囲気の中で授業を実施していた。学齢期でなくても比較的障がいが軽い方は私たちの授業を楽しそうに見ており一緒に歌ったりすることもあった。

しばらくすると、ある看護師さんが声を掛けてきた。「先生、野球しよたんやろ？同級生のせいじ君がキャッチボールしてほしいって言いよるよ。」「同級生でキャッチボールいいですね。じゃプレイルームお借りしますね。」この1か月、いつも私たちの授業を楽しそうに見ていた方のひとり「せいじ」君は体全体に硬直が見られ、特に腕はピンと伸びた状態でやや外旋し、ボールを投げるところか持つことさえ困難と思われた。少し聞き取りにくい、「じゃ、こっちでお願いしますね。」と言って、硬直がゆるい左足を曲げ伸ばしし、体育座りのまま器用に移動して行くせいじ君についていった。止まったせいじ君に合わせ5mほど距離をとると、笑顔で「もっと後ろ」というので、こちらも笑顔で「大丈夫？」と言いながら3mほど下がった。キャッチャーの姿勢を取った私に対して横を向いたせいじ君は、左足の親指と人差し指を使ってソフトテニスのボールを挟み、ゴロンと寝転がった。そして、左足を股関節から大きくテイクバックし、体全体を使って私のほうへ振られた足の指先からボールが離れ、大きな弧を描いて私の胸の前で飛んできた。しばらく声が出なかった。こんなに障がいがあるのに足で投げられるのかと、人生で初めて感動で体が震えた。固まっている

私にせいじ君が「ストライク?」と聞いてきた。我に返った私は「ストライク! ナイスカーブ」と声を掛けると、「フォークで」と返ってきた。確かに指でボールを挟んでいるのでフォークかと妙に納得し、「ナイスフォーク」と言ってお互いに笑い合った。

それから、足が不自由だが腕がめっぽう強い「やっちゃん」と私の同僚で当時県のやり投げチャンピオン野口さんが加わり、水曜日の昼休み15分ほど野球大会が開かれた。「せいじ」君と「やっちゃん」のハンディに我々が合わせての真剣勝負に、入院している方はもちろん手の空いた看護師さんも観戦してくれておおいに盛り上がった。憐みの感情を持っていては本当には分かり合えないことを若い時に学習できた本当に貴重な体験だった。

## 【人権委員の声】

はじめから、〇〇だからできないなどと決めつけるのではなく、他のやり方を見つけたりすることがとても大事だなと思いました。最近では、ポッチャなど、障がいを持っている人でもできるスポーツがあっていいなと思っています。みんなが平等に楽しく過ごすことができる環境が世界に広まってほしいです。(1年生 人権委員)

障がいを持っている人も、いろいろと考えながら僕たちが普段行っていることを工夫しながらしていてすごいなと感じました。文章の中で、「憐みの感情を持っていては本当には分かり合えない」の部分に共感しました。(2年生 人権委員)

体が不自由な人でも、工夫して自分がしたいことをできることがすごいなと思いました。相手のことを理解するのはとても難しいことですが、相手と分かり合うために平等と公平について考える必要があると思いました。(3年生 人権委員)

石山教頭先生のように、障がいという“イメージ”や“見た目”などの表面的なことを取っ払って、もっと内部にある得意なことや可能性を共有できるポジティブな関係を結べるように、これから障がいのある方と接していくときに気を付けていきたいです。(4年生 人権委員)

一人一人に良さがあって、良い部分を見つけていきたいと思った。人間は皆平等であるので、偏見を持たずにいろいろな人と関わっていきたい。「障がい」というもので区別せず、みんなが思い合える社会になればいいと思う。(6年生 人権委員)

## 人権教育相談部より

職員室の入口にある掲示板に「人権教育部コーナー」があります。職員室を訪ねてきた皆さんが、先生を待たったりするちょっとした時間に読んでもらいたいなという思いから、主に新聞記事を掲示しています。いろいろな記事を読んで、いろいろな人の考えに触れることで、自分の考え方や価値観を見直し、人権感覚を磨くきっかけにしていきましょう。新聞記事の他にも、人権委員会の活動報告もしています。先日行った活動として、中庭の花壇にヒマワリの種をまいた様子など掲示しています。ぜひご覧ください。